

6. サービス提供状況

各地域区分において格差が出ている。協会データのサービス比率と大きく差が出ているのは、アンケート回答者が非常勤のヘルパーであることが要因であると考えられる。

サービス提供状況(区分別比率)

表6-1 回数比率

	特別区	特甲地	甲地	乙地	その他	平均
身体	44.3%	26.6%	29.7%	32.8%	42.4%	37.1%
複合	32.5%	29.7%	14.9%	32.5%	29.7%	30.2%
家事	23.3%	43.7%	55.4%	34.7%	27.9%	32.8%
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

	協会	国
身体	41.83	39.80
複合	32.70	24.90
家事	25.47	35.30
	100.00	

表6-2 時間比率

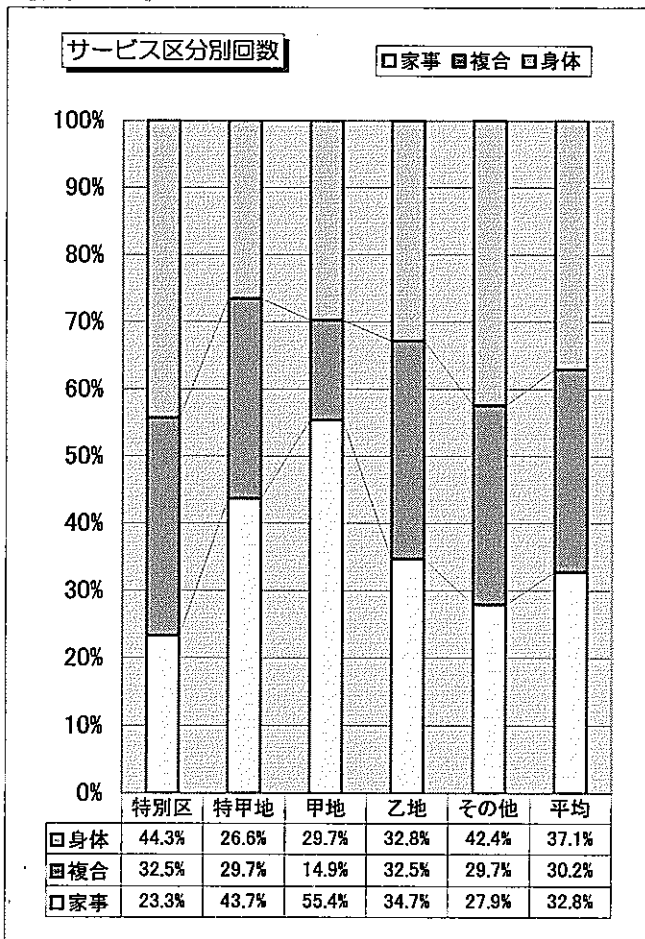
	特別区	特甲地	甲地	乙地	その他	平均
身体	34.4%	21.5%	20.9%	26.6%	30.4%	27.6%
複合	39.5%	32.8%	19.3%	36.0%	37.6%	35.9%
家事	26.2%	45.7%	59.8%	37.4%	32.0%	36.6%
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

	協会	国
身体	30.17	33.76
複合	40.59	18.69
家事	29.24	47.56
	100.00	

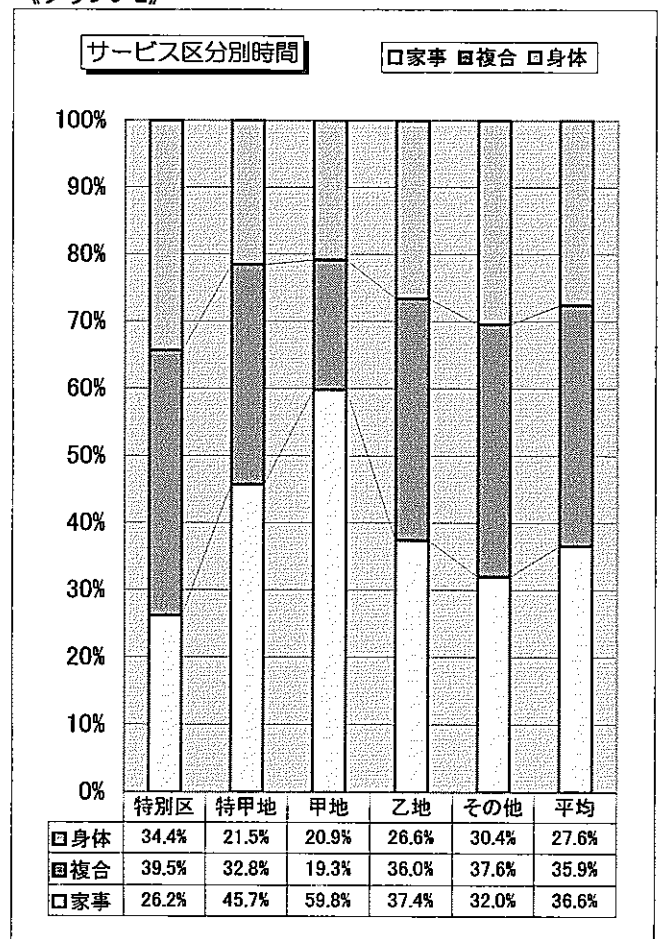
※協会データは、平成13年10月度実績による

※国のデータは、平成13年5月のデータを引用

《グラフ6-1》



《グラフ6-2》



II. 移動に関する実態

1. 移動手段について

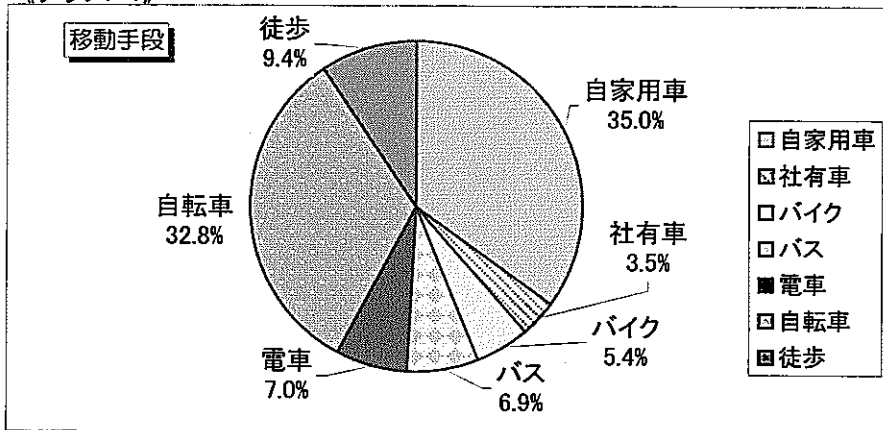
全体の割合では、自家用車の35.0%に次いで自転車の32.8%が多くなっている。地域別交通手段と照らし合わせると、都市部からはなれるにつれて自家用車が多くなっており、交通網の整備状況の違いが如実に現れている。

※甲地については、サンプル数が少ない為、多少実態と乖離しているところがあると考えられる。

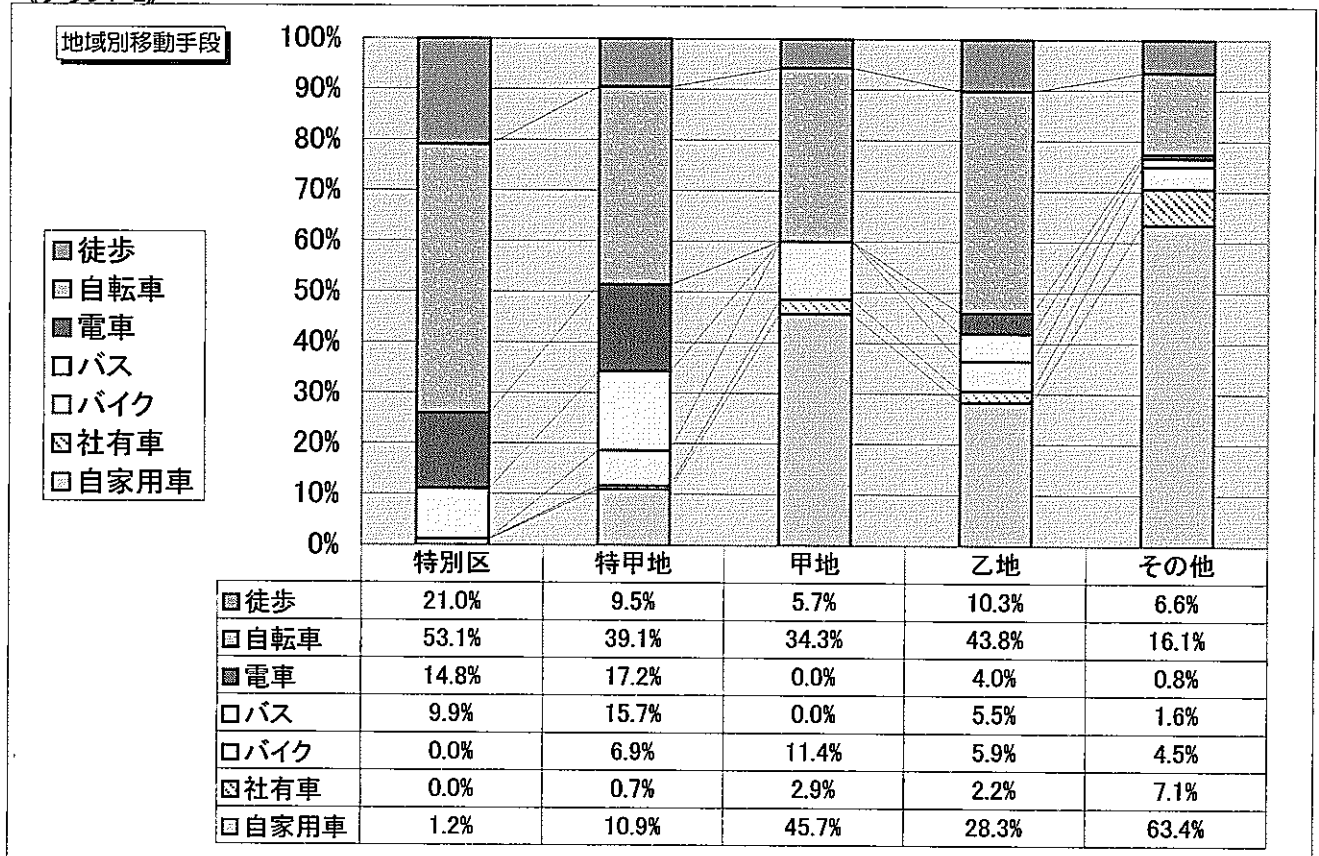
表7

	特別区	特甲地	甲地	乙地	その他	平均
自家用車	1.2%	10.9%	45.7%	28.3%	63.4%	35.0%
社有車	0.0%	0.7%	2.9%	2.2%	7.1%	3.5%
バイク	0.0%	6.9%	11.4%	5.9%	4.5%	5.4%
バス	9.9%	15.7%	0.0%	5.5%	1.6%	6.9%
電車	14.8%	17.2%	0.0%	4.0%	0.8%	7.0%
自転車	53.1%	39.1%	34.3%	43.8%	16.1%	32.8%
徒歩	21.0%	9.5%	5.7%	10.3%	6.6%	9.4%
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

《グラフ-1》



《グラフ-2》



2. 移動にかかる時間について

移動手段別にみるとバス・電車の平均片道移動時間が37分前後であるが、P4でバス・電車の利用割合は13.9%となっている。特別区・特甲地などの交通網が発達している地域においては、当然他の地域よりも公共交通機関利用率は高くなっているが、全体的な傾向として利用者宅への訪問に対し移動時間を優先させて最適な交通手段を選択している事が分かる。その結果、時間のかかるバス・電車等公共交通機関の割合は少ないと予想される。

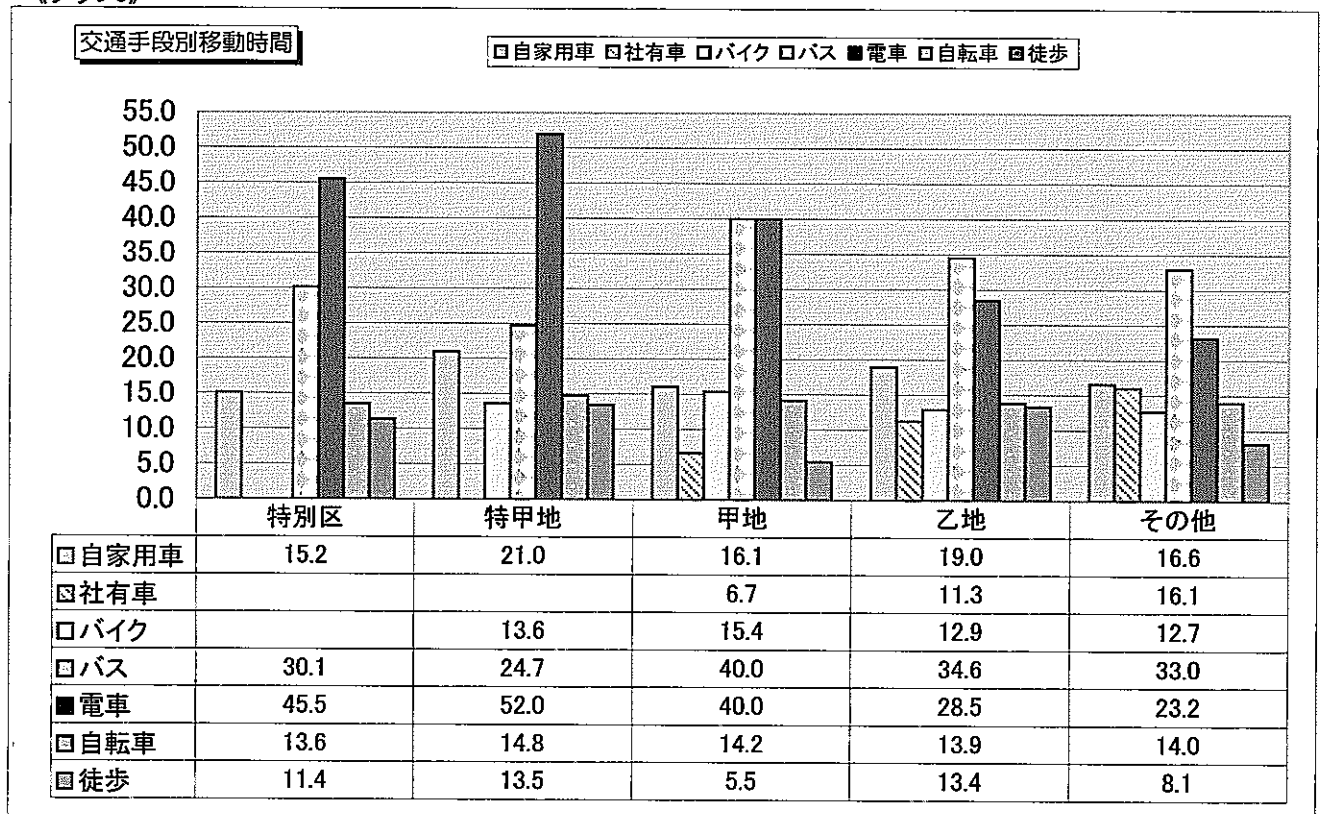
表8-1 手段別時間(片道) (単位:分)

	特別区	特甲地	甲地	乙地	その他	平均
自家用車	15.2	21.0	16.1	19.0	16.6	17.2
社有車			6.7	11.3	16.1	14.9
バイク		13.6	15.4	12.9	12.7	13.2
バス	30.1	24.7	40.0	34.6	33.0	28.0
電車	45.5	52.0	40.0	28.5	23.2	47.5
自転車	13.6	14.8	14.2	13.9	14.0	14.1
徒歩	11.4	13.5	5.5	13.4	8.1	12.0
Av	17.1	20.5	15.0	15.9	16.0	16.9

表8-2 手段別最大・最小時間 (単位:分)

	特別区		特甲地		甲地		乙地		その他	
	Max	Min	Max	Min	Max	Min	Max	Min	Max	Min
自家用車	25	5	90	10	30	3	50	3	80	2
社有車					10	3	40	5	40	2
バイク			30	3	30	5	30	3	50	4
バス	50	15	60	10	40	40	60	15	40	20
電車	80	10	90	10	40	40	50	10	45	20
自転車	35	1	40	1	35	5	40	2	40	2
徒歩	35	1	40	2	10	2	60	1	30	1

《グラフ8》



3. 移動にかかる交通費について

バス・電車の利用割合は少ないが、片道交通費が他の手段より高い為、特別区や特甲地のようにバス・電車の利用が全体の2割弱を占める地域は平均交通費を押し上げている形になっている。一方で、自家用車の平均片道交通費が81.5円(5地域平均)となっているが、リッターあたり10km走る計算でのガソリン代として1kmあたり10円の換算をしており、実際の自動車維持費等を加えると大幅に実際の交通費を押し上げられると思われる。

尚、今回の移動交通費(平均)の介護報酬に占める割合は、およそ下記の通りとなる。

(介護報酬に占める交通費割合) ※平均数値×2(往復)で算出(徒歩は除く)

	自家用車	社有車	バイク	バス	電車	自転車	(平均)
身体	3.9%	2.6%	2.7%	13.6%	13.0%	0.4%	7.17%
複合	5.6%	3.8%	3.9%	19.7%	18.8%	0.6%	10.37%
家事	10.2%	7.0%	7.2%	35.8%	34.1%	1.2%	18.84%

上記より、報酬単価の低い家事援助における交通費の占める割合は当然多いが、バス・電車においては報酬の3割以上を占め、個別ケースによっては5割を超える事も十分考えられる。

※非常勤ヘルパーに対する交通費の支払率 25.9%(シルバーサービス振興会調査結果より)

表9-1 手段別交通費(片道) ※自家用車・社有車・バイクについては、1km=10円で換算

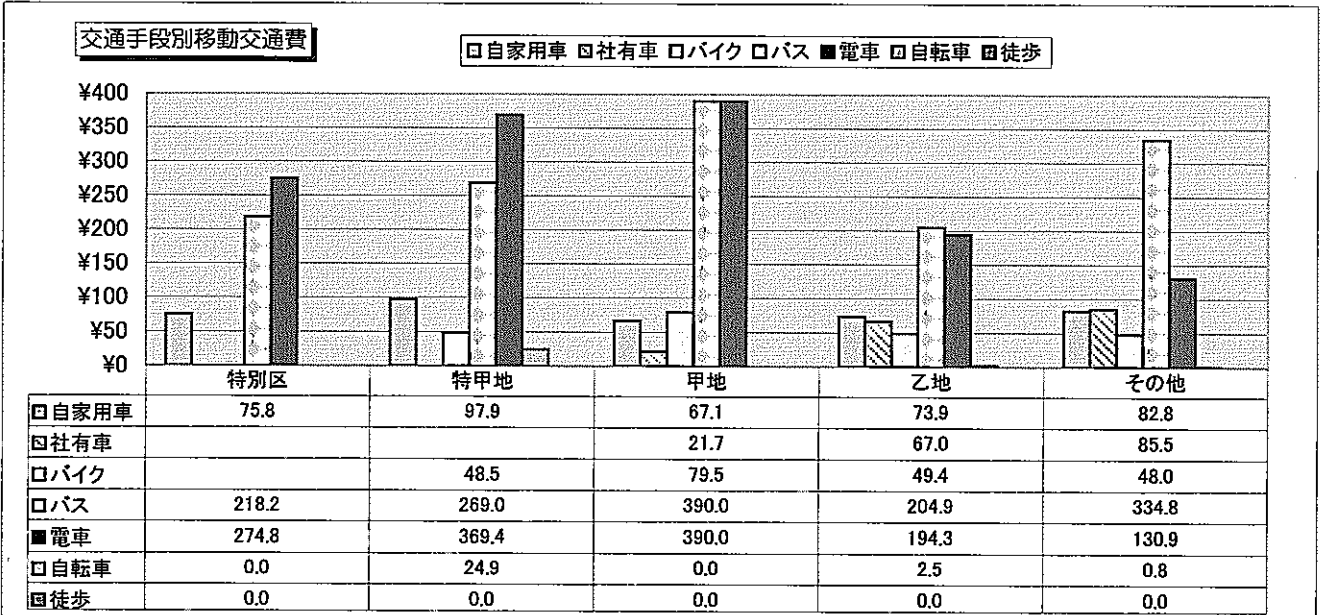
	特別区	特甲地	甲地	乙地	その他	平均	(単位:円)
自家用車	75.8	97.9	67.1	73.9	82.8	81.5	
社有車			21.7	67.0	85.5	80.8	
バイク		48.5	79.5	49.4	48.0	51.0	
バス	218.2	269.0	390.0	204.9	334.8	257.0	
電車	274.8	369.4	390.0	194.3	130.9	324.6	
自転車	0.0	24.9	0.0	2.5	0.8	7.9	
徒歩	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
Av	218.5	234.3	72.5	81.9	82.9	105.0	

表9-2 手段別最高・最小金額

(単位:円)

	特別区		特甲地		甲地		乙地		標準地	
	Max	Min	Max	Min	Max	Min	Max	Min	Max	Min
自家用車	125	25	175	10	250	10	230	10	500	5
社有車					35	10	200	10	250	10
バイク			100	10	300	10	150	10	150	10
バス	210	200	400	180	390	390	470	150	430	150
電車	530	110	900	120	390	390	470	100	190	100
自転車	0	0	100	0	0	0	50	0	100	0
徒歩	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

《グラフ9》



※自転車については、一部の事業所において交通費を支給している。(自転車を使用した移動総数の約14%)

訪問入浴介護実態調査集計結果

平成14年4月8日

日本在宅サービス事業者協会